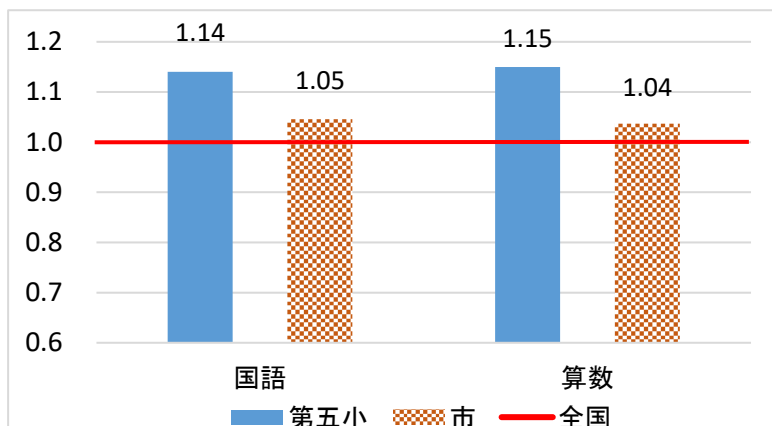


令和3年度 全国学力・学習状況調査について
第六中学校区 第五小学校 第6学年

○調査結果（全国平均を1とした場合の平均正答率の比）



○調査結果についての分析、今後の改善方策

【国語】

「目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約する」問題において課題が見られるが、全ての項目において全国平均・大阪府平均を上回り、特に「漢字を正しく使う」問題では10ポイント以上上回った。引き続き、ディベートや読書指導、新聞の活用などにより文章を要約し、他人に伝える力の育成を図っていく。

【算数】

全ての項目において、全国平均・大阪府平均を大きく上回っている。特に「記述式」問題において全国を上回り、めざましい結果となっている。引き続き、最後まで粘り強く練習問題に数多く取り組みせるとともに数学的なものの考え方を養い、問題解決につなげる学習活動に努めていく。

【質問紙調査】

「自分にはよいところがあると思いますか」「将来の夢や目標を持っていますか」の問いでは全国平均を下回るが「学校に行くのは楽しいと思う」では全国平均を上回った。

読書に関する質問では全国平均と比べ良好な結果となり、読書に親しむ指導を今後も続けていく。

○学力向上の取組

【中学校区】

小学校での漢検の実施や専科授業・教科担任制の導入、さらに中学校教員による小学校への出前授業など、中学校区三校で連携した取り組みを行っている。小中学校の学習体制の段差を解消するシステムづくりや様々な会議を通して、各教科の課題や対策を共有し、校区の子どもの実態把握に努めている。【学校】

5・6年生算数での3クラス5分割の少人数習熟度別指導や、4年生算数での少人数習熟度別指導、4・5・6年生での理科専科授業、5・6年生の音楽専科授業など、児童個々の能力に応じたきめ細かな指導により学力向上に努めている。